

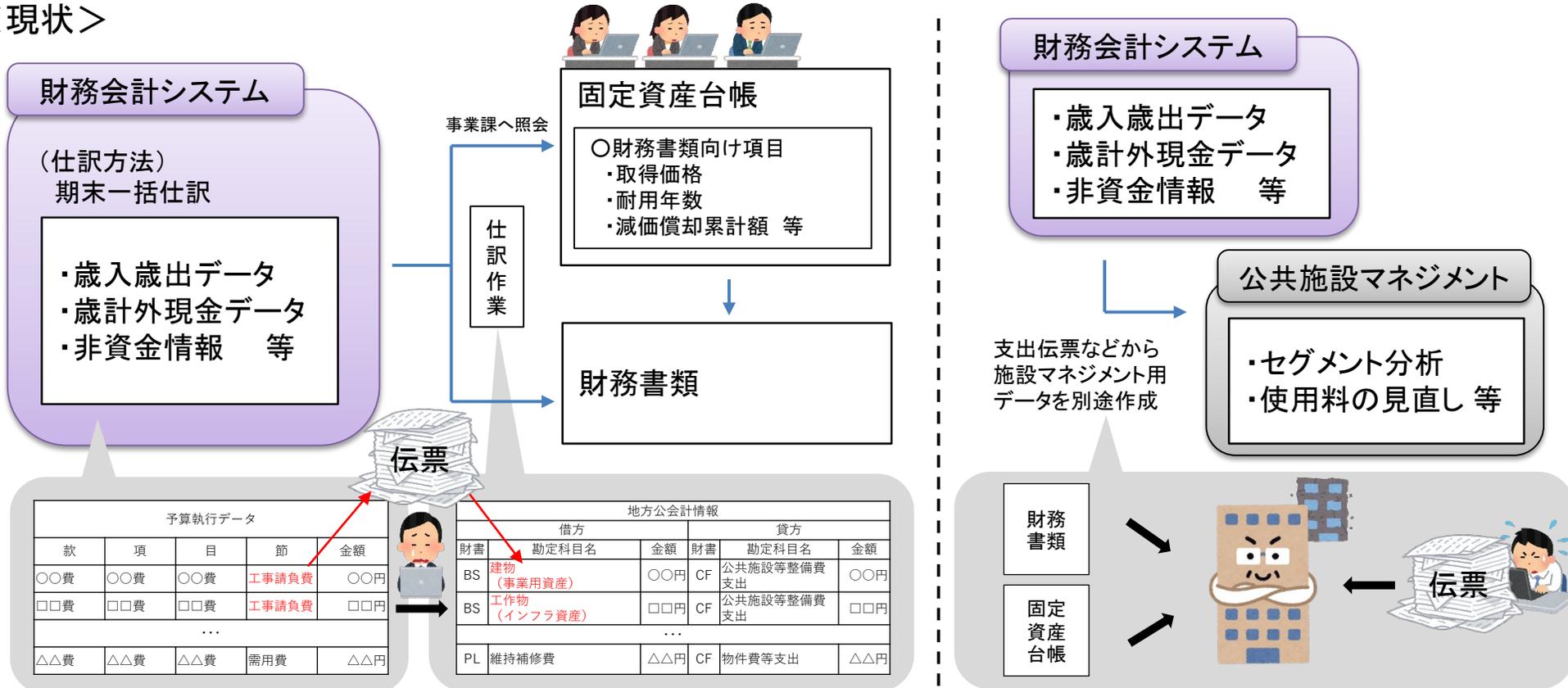
# データ整備における 中長期的に目指すべき姿について

令和6年6月25日  
総務省自治財政局財務調査課

# 地方公会計情報に係る整備の現状

- 現状、数多くの団体においては地方公会計の仕訳情報を予算執行データにはもっておらず、財務会計システムに集約された個別データを伝票単位で期末に仕訳するなど、多大な労力をかけつつ、固定資産台帳の整備や財務書類の作成しているところ。
- また、公共施設マネジメントなどへの活用においても、データの整備を改めて行っている団体が多く、負担を伴っている状況。

## <現状>



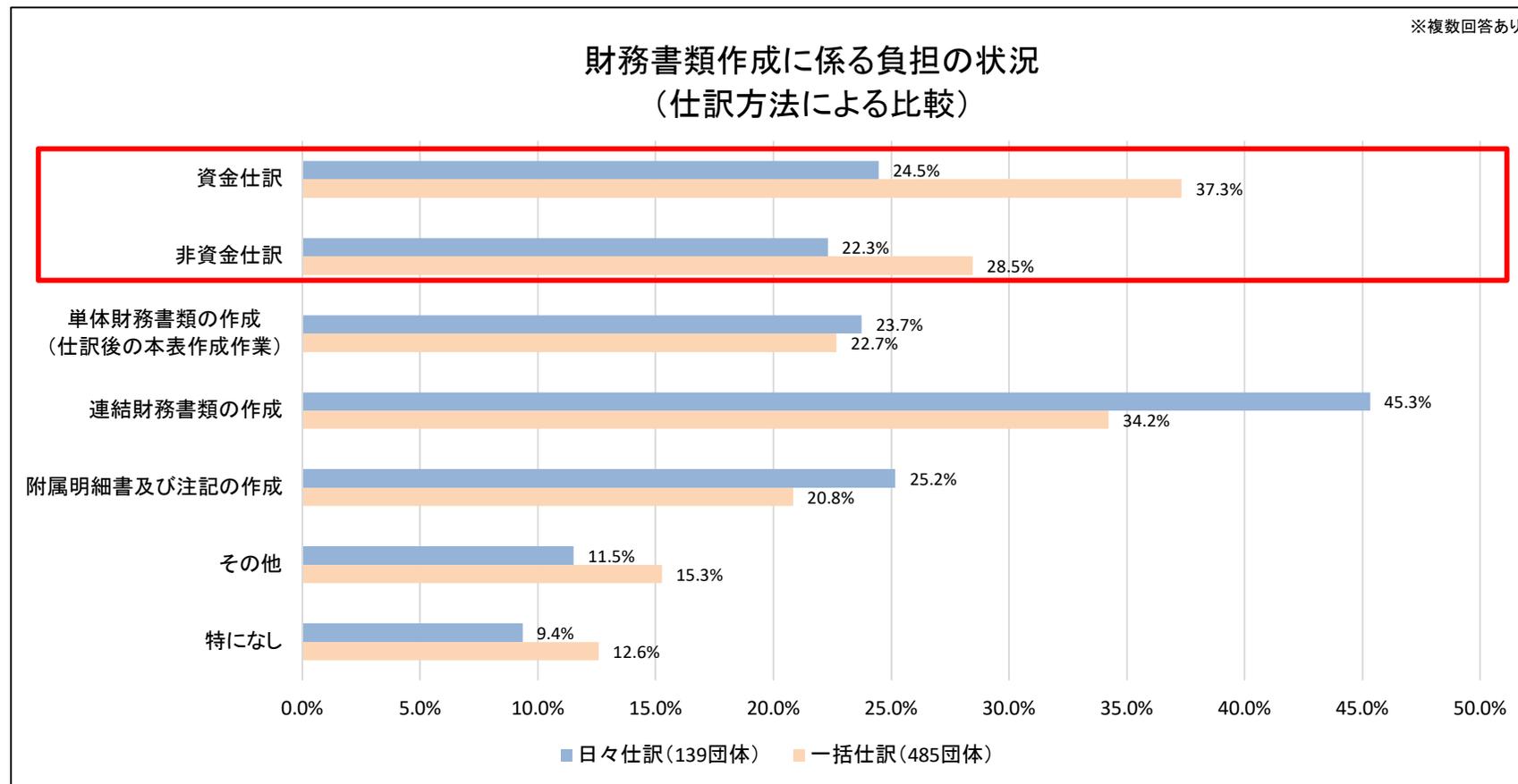
- ・ こうした「データ整備」では、どうしても「財務書類作成」のためのデータという位置づけが強くなってしまいう懸念がある。
- ・ より広い概念として「地方公会計情報」の活用意識の醸成をしていくためにも、「データ整備」のあるべき具体的な姿を整理し、地方公会計の目指すべき方向性を明確にしていきたい。

# 財務書類作成に係る負担と仕訳方法の関係について

分析の観点: 仕訳方法によって、財務書類の作成負担感は異なっているか。

(分析方法)

全団体から財務書類の作成を委託している団体を除いた624団体を仕訳方法(日々仕訳/期末一括仕訳)で区分し、財務書類の作成負担感の違いを分析



日々仕訳を導入している団体は、期末一括仕訳に比べて仕訳作業の負担感を回答した割合が低い。

※なお、日々仕訳において「連結財務書類の作成」に係る負担の回答割合が高い理由としては、当該項目が日々仕訳の影響を受けないことに加え、仕訳作業の負担が軽減されたことで相対的に他項目の負担が際立ったためと考えられる。

# セグメント分析における負担の有無とデータ整備の関係について

分析の観点: セグメント分析を実施するにあって、どこに負担があるのか。

(分析方法)

令和5年度にセグメント分析等を実施した団体における負担の有無とその理由を分析

(単位: 団体)

区分	都道府県 (7団体)	指定都市 (3団体)	市区町村 (76団体)	合計 (86団体)
負担感はない	1 (14.3%)	1 (33.3%)	28 (36.8%)	30 (34.9%)
負担感がある	6 (85.7%)	2 (66.7%)	48 (63.2%)	56 (65.1%)

## <回答の詳細>

### ○「負担感はない」の主な理由

- ・ 外部委託によりデータ作成・分析しているため
- ・ 別途作業を要さないため
- システムで自動的に分析されるため 等

### ○「負担感がある」の具体的な内容

- ・ 分析のための作業に係るもの
  - 作成した財務書類を再度細分化して作成する必要がある
  - 一部の勘定科目については、システム外で按分等の手計算が必要
  - 基となるデータが統一されていないため施設別財務書類の作成が困難 等
- ・ 各課に照会が必要
- ・ 施設数が多い
- ・ 事業課毎に作成のレベル感をあわせることが難しい 等



- ・ 負担感は、セグメント分析を行うための「データ加工」に集中している。
- ・ セグメント分析の負担軽減には、データ整備のあり方を見直すことが有効か。

# データ整備の事例① 埼玉県和光市

- 予算科目について、地方公会計の仕訳に対応させた更なる細分化を設定しておくことで、予算執行に伴い仕訳が行われ、固定資産台帳、財務書類の整備を自動化している。

## 【予算仕訳のイメージ】

### <工事請負費の細節の見直し>

旧細節体系		新細節体系	
No	名称	No	名称
01	単独事業費	01	単独事業費(建物)
02	補助事業費	02	補助事業費(建物)
		03	単独事業費(建物付属設備)
		04	補助事業費(建物付属設備)
		05	単独事業費(工作物)
		06	補助事業費(工作物)
		07	単独事業費(備品取付)
		08	補助事業費(備品取付)
		09	単独事業費(造成)
		10	補助事業費(造成)
		11	単独事業費(当年度未成)
		12	補助事業費(当年度未成)
		13	単独事業費(維持補修)
		14	補助事業費(維持補修)
		15	単独事業費(解体)
		16	補助事業費(解体)

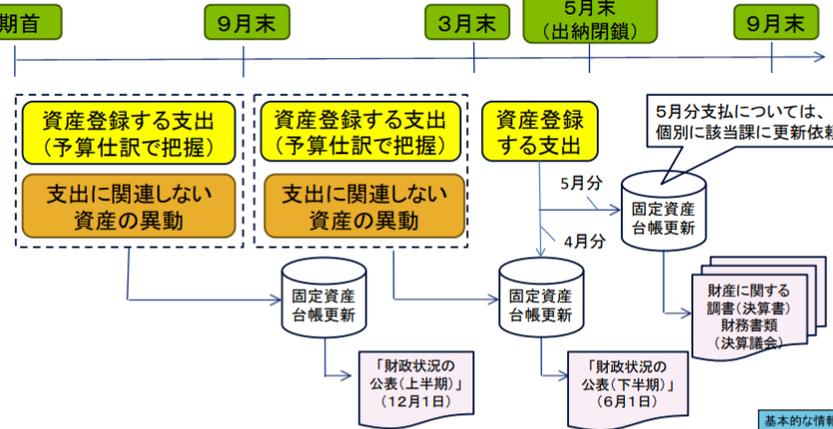
- 建物の新築や増築に関わる工事請負費等
- 備品を取り付ける工事(防犯カメラ設置工事などが該当)
- 土地の造成に関する工事(土地の取得価額に上乗せ)
- 翌年度以降に関連する工事があるもの
- 「修繕料(維持補修)」に分類される工事(緊急工事費や水路浚渫工事が該当)
- 資産の解体・撤去を伴う工事

### <委託料の細節の見直し>

旧細節体系		新細節体系	
No	名称	No	名称
01	業務委託料	01	業務委託料
02	医療業務委託料	02	医療業務委託料
03	設計・監理等委託料	03	設計業務委託料
04	施設維持管理委託料	04	施設維持管理委託料
05	施設入所等委託料	05	施設入所等委託料
		06	設計業務委託料(基本設計)
		07	監理業務委託料(建物)
		08	監理業務委託料(建物付属設備)
		09	監理業務委託料(工作物)
		10	監理業務委託料(造成)
		11	監理業務委託料(当年度未成)
		12	監理業務委託料(維持補修)

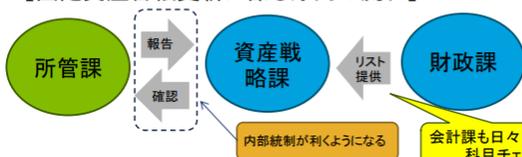
- 設計・管理等委託料を設計業務委託料と監理業務委託料に分割。
- 設計業務委託料・測量業務委託料については、基本設計を資産計上

## 【固定資産台帳の更新スケジュール】



- 効果**
  - 所管課からの報告頻りとなっていた財産管理が、公会計と結びつけておくことで、執行データに基づき、資産情報の更新が漏れなく行えるようになっている。
- 固定資産台帳と公有財産台帳の一本化**
  - 固定資産台帳の更新にあたり、既存の公有財産システムや備品管理システムを使用停止し、公有財産台帳を兼ねた固定資産台帳システムとして、一本化している。
  - これにより、更新作業を効率化できている。公有財産台帳と固定資産台帳の整合性も取れている。

## 【固定資産台帳更新に係る庁内の流れ】



- 財政課から執行データを資産戦略課に送付。その後、資産データの確認・更新を行い、固定資産台帳の更新が終了。

## 【固定資産台帳の公表項目】

基本的な情報	資産負債区分、資産負債区分名称、勘定科目コード、勘定科目名称、資産負債番号、資産負債種番、資産名称
日付情報	取得年月日、償却開始年月日
金額情報	取得価額等、減価償却累計額、現在簿価、耐用年数分類、耐用年数分類の名称、耐用年数
物理的情報	所在地、市道・水路・始点、市道・水路・終点、数量((延べ床)面積)、数量の単位、建物:非木造面積、建物:木造面積、階数(建物)、建物:地下階数、地目コード、地目名称、用地の状況、所有関係区分、所有関係区分名称、所有割合、売却可能区分、売却可能区分名称、緯度、経度
属性情報(セグメント分析用)	所屬コード、部課名称、団体コード、団体名称、会計コード、会計名称、目的別資産区分、目的別資産区分名称、財産区分、財産区分名称、財産種別(土地・建物)、財産種別名称(土地・建物)、施設コード、施設名称、事業コード、事業名称、建物名称
その他	開始時評価方法

## データ整備の事例② 千葉県習志野市

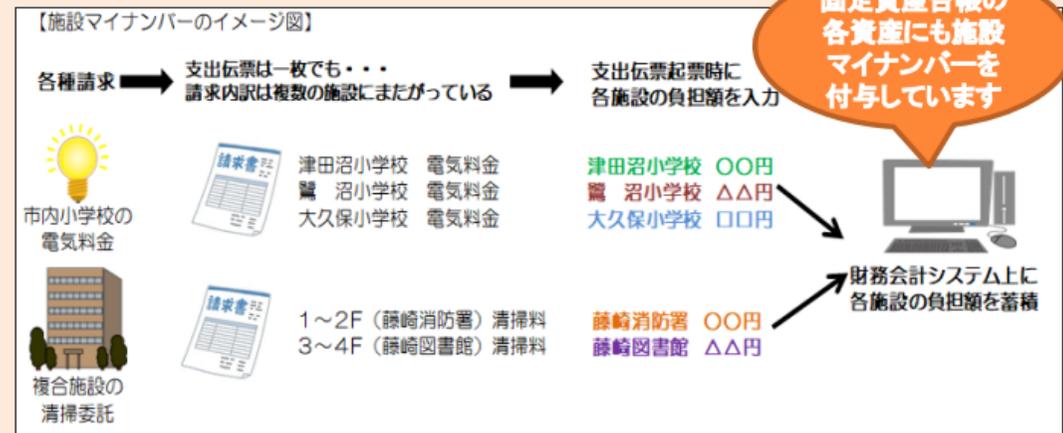
- 各施設にコード番号を設定し、予算執行時に施設毎に行政コストを振り分けておくことで、セグメント分析などの活用時におけるデータ整備に係る負担を軽減している。

### 事例概要

- 施設毎のコスト分析ができるよう、固定資産台帳の資産登録時に財務会計システムとの共通の「施設マイナンバー」を付記し、各施設に関するより精度の高いコスト情報を把握することとしている。

### 取組内容

- 財務会計システム上に各施設の情報を登録し、コード体系化する「施設マイナンバー」の概念を構築することで、財務会計システムでの予算執行（支出伝票起票）の時点で、各施設に係る費用を伝票起票担当者が財務会計システム上に直接入力する。
- 1枚の支出伝票で複数の施設にまたがる支出も、支出伝票起票の際に、各施設の支出額を財務会計システム上に記録する。



### 効果等

- 複数施設について一括して予算措置していたり、1つの施設について複数の担当課が予算措置していると、施設ごとのコストを算出する手間が掛かるが、施設マイナンバーを基に施設ごとに情報を整理しておくことで、当該施設に係る支出額を容易に集計できるため、施設ごとのコストの把握が可能となった。

# データ整備の事例③ 福島県田村市

○ 財務会計システムと固定資産台帳システムを連携し、予算執行と資産登録を連動させることで、固定資産台帳を漏れなく更新。さらに、公有財産台帳等とも連携することで資産データを一元的に管理し、データ整備をワンストップ化。

**【財務会計システム】**

内容 工事●号 ●●センター建設工事 (竣工私) 内容複写 摘要検索

**固定資産台帳へ遷移**

編集	請求書番号	財産入力	摘要	金額
<input type="checkbox"/>		工事名: 工事●号 ●●センター建設工事	計算	30,000,000
<input type="checkbox"/>		工事場所: ●●市●●町●●地内	計算	
<input type="checkbox"/>		工期: 令和●●年●●月●●日~令和●●年●●月●●日	計算	
<input type="checkbox"/>			計算	
<input type="checkbox"/>			計算	
<input type="checkbox"/>			計算	
<input type="checkbox"/>			計算	
<input type="checkbox"/>			計算	
計				30,000,000
課税区分 課税(外税)				消費税額 3,000,000
配当残額 167,300,000				支出命令額 33,000,000
				控除額入力
				差引支払額 33,000,000

上に追加 上へ移動 行複写 摘要複写 下に追加 下へ移動 行削除 全行削除 課税区分 課税(外税) 消費税額 3,000,000 摘要検索 積算複写 配当残額 167,300,000 支出命令額 33,000,000 控除額入力 差引支払額 33,000,000

**【固定資産台帳イメージ】**

用途種別	004: 屯所				
財産名称	0065: 消防施設(船引地区隊第5)				
管理会計	財産固有名称 船引地区隊第5分団第1部集合屯所				
管理課	行政目的区分	6: 消防	資産区分 事業用資産		
施設名称	供用開始年月日	令和5年3月3日	建設年月日 令和5年2月24日		
建物種目	延床面積	現況 129.18	評価		
屋根構造	台帳	129.18			
建物構造	取得区分	新築			
構造	取得年月日	令和5年3月3日			
	取得価額	49,280,000円			
	火災保険等	加入			
所在地	大字	再調達価額			
	小字	評価方法	主体構造		
	番地	用途	平均単価		
簿冊情報	所有区分	所有	評価価額		
前所有者	減価償却	取得価額を優先して開始時原価とする	49,280,000円		
		建物種目	13: 車庫	建物構造	木造
		耐用年数	17年	償却率	0.059
所有割合	100.00%	累計額			
売却可能	不可	令和4年度分			
貸借情報	期間	令和4年度簿価	49,280,000円		
	金額				
備考	取得財源内訳				
	取得価額	49,280,000円			
	国庫支出金	円			
	都道府県支出金	円			
	その他	円			
	地方債	円			
その他特別財源	円				
	一般財源	49,280,000円			

**【固定資産台帳システム】**

取得年月日 不明 | 令和 | 6年 | 6月 | 20日

管理課 01 | 01 | 01 | 03 | 00 | - | 0000 総務部財政課

管理会計 001: 一般会計

取得区分 005: 新築

異動事由(統一基準) 01-01-00-00 新規有償取得 確認

取得事由 ●●センター建設工事が竣工したため

財産分類 01: 行政財産

財産種別 02: 公共用財産

施設名称 検索

用途種別 検索

財産名称

資産区分

財産固有名称

台帳名 検索

台帳番号

所有情報 区分 ●所有 ○借受 ○貸付

この内容で追加

**他の資産台帳と連携**

# データ整備における中長期的に目指す姿（イメージ）

- 予算科目や資産に係るデータが可能な限り細分化されたデータ、具体的には「活用を意識した粒度のデータ」になっていることがデータ整備の理想的な姿であると考えられる。
- こうしたデータの細分化はすればするほど負担感が増すと考えられるが、理想的なシステム化が達成できれば、（最初の細分化というインシャルコスト以外の）負担は軽減できると考えられる。
- よって、データ整備の理想像を意識した上で、ICTを最大限活用したシステムを構築していくことが中長期的に目指すべき姿ではないか。

## データ整備における中長期的に目指す姿（イメージ）

### <データの持ち方の理想>

予算執行データ														
款	項	目	節	細節	細々節	金額	借方	貸方	資産分類①	資産分類②	資産分類③	施設コード	追加情報①	...
〇〇費	〇〇費	〇〇費	工事請負費	工事請負費 (資産形成)	資産形成 (建物)	〇〇円	BS建物 (事業用資産)	CF公共施設等 整備費支出	教育施設	小学校	A小学校	00001	A小学校_耐震工事	...
□□費	□□費	□□費	工事請負費	工事請負費 (資産形成)	資産形成 (橋梁)	□□円	BS工作物 (インフラ資産)	CF公共施設等 整備費支出	道路施設	橋梁	〇〇橋	00002	市道〇〇号_〇〇橋_架替 工事	...
...														
△△費	△△費	△△費	需用費	修繕料	修繕料 (工作物)	△△円	PL維持補修費	CF物件費等支出	教育施設	小学校	A小学校	00001	A小学校_空調設備修繕	...

活用を見据えたデータをあらかじめ整備することで、負担なく活用可能。

### 財務会計システム

(仕訳方法)  
予算仕訳、日々仕訳

・歳入歳出データ  
・歳計外現金データ  
・非資金情報 等

・予算決算  
・決算統計  
・健全化判断比率

相互  
連携

### 固定資産台帳システム

※他の資産台帳を一元管理

#### 固定資産台帳

○財務書類向け項目  
・取得価格  
・法定耐用年数  
・減価償却累計額 等

○施設マネジメント向け項目  
・セグメント情報  
・使用耐用年数  
・ランニングコスト 等

### 財務書類システム

財務書類

予算編成  
政策評価

公共施設  
マネジメント

セグメント分析